

参考文献

- 荒このみ、谷川道子（2000）『境界の「言語」 地球化/地球化のダイナミクス』新曜社
- 赤堀仁美、岡典栄、松岡和美（2012 刊行準備中）「文法が示す自然言語としての日本手話」佐々木倫子編『ろう者から見た「多文化共生」—もうひとつの言語的マイノリティー』（仮）ココ出版
- アジェージュ、クロード（2004）『絶滅していく言語を救うために—ことばの死とその再生』白水社
- 安藤豊喜、高田英一（1979）「日本における 手話通訳の歴史と理念」日本聴力障害新聞（1979年6月1日）
- 池田紘一・今西祐一郎編（2002）『文字をよむ』九州大学出版会
- 石川 九楊（1999）『二重言語国家・日本』 日本放送出版協会
- 岩淵悦太郎、関根俊雄、山崎久之（1970、1984）『新版 口語の文法』 秀英出版
- イ・ヨンスク（1996、1998）『「国語」という思想』 岩波書店
- イ・ヨンスク（2009） 『「ことば」という幻影』 明石書店
- NPO 手話技能検定協会（2005）『ひと目でわかる実用手話辞典』新星出版社
- 大原 穰子（2004）『方言で読む日本国憲法』五月書房
- 岡典栄、赤堀仁美（2011）『文法が基礎からわかる 日本手話のしくみ』大修館書店
- 岡本佐智子（2004）「外来語の受容と管理：言語政策の視点から」北海道文教大学紀要 51-62
北海道文教大学
- 大角翠（2003）『少数言語をめぐる10の旅 フィールドワークの最前線から』三省堂
- 緒方英秋（2004）『すぐに使える手話辞典 6000』ナツメ社
- オング、ウォルター（1991）『声の文化と文字の文化』藤原書店
- カーブ・アン著、梶山あゆみ訳（2008）『「声」の秘密』草思社
- 糟谷啓介（2002）「全体論的言語像の形成【「高貴な俗語」から近代国民語へ】別冊 環⑤『ヨーロッパとは何か』92-99
- 加藤茂孝（2010）「「風疹」—母子感染による難聴の野球選手」『モダンメディア』56巻9号219-227 理化学研究所
- カルヴェ、ルイ=ジャン（2010）『言語戦争と言語政策』三元社
- 川口良、角田史幸（2005）『日本語はだれのものか』吉川弘文館
- 神田和幸編著（2009）『基礎から学ぶ手話学』福村出版
- 菊池久一（1995）『「識字」の構造—思考を抑圧する文字文化』勁草書房
- 木村護郎クリストフ（2010）日本における「言語権」の受容と展開 『社会言語科学』第13巻
第1号 4-18 社会言語科学会
- 木村晴美、市田泰弘（1995、2004）「ろう文化宣言」現代思想編集部編『ろう文化』8-17
- 木村晴美、長谷川洋、上農正剛（2002、2004）「ろう者とは誰か/手話は誰のものか」現代思想編集部編『ろう文化』110-141

- 木村晴美 (2011) 『日本手話と日本語対应手話 (手指日本語) 一間にある「深い谷」』
生活書院
- かどやひでのり、あべやすし (2010) 『識字の社会言語学』生活書院
- 川田順三 (2004) 『コトバ・言葉・ことば：文字と日本語を考える』 青土社
- クルマス、フローリアン (1993, 1995) 『ことばの経済学』大修館書店
- 河野六郎 (1994, 1995) 『文字論』三省堂
- 児玉茂昭 (2006) 「文字を持たない言語と計算機」塩原朝子、児玉茂昭編著 (2006) 『表記の習慣のない言語の表記』東京外国語大学アジア・アフリカ言語研究所
- 小森陽一 (2000) 「声を書く」『境界の言語』新曜社
- 古石篤子 (2008) 「ろう児の教育：言語政策の視点から」慶應義塾大学湘南藤沢学会『混乱・模索するろう教育の現場』pp61-71
- 今野真二 (2010) 『書かれたことば<日本語学講座①>』清文堂
- 今野真二 (2009) 『振仮名の歴史』集英社
- 佐伯 梅友 (1965) 「口語文法と文語文法」『口語文法講座 1 口語文法の展望』 明治書院
- 酒井邦嘉 (2002, 2007) 『言語の脳科学』中央公論新社
- 佐々木倫子編 (2012 刊行準備中) 『ろう者から見た「多文化共生」—もう一つの言語的マイノリティー』(仮) ココ出版
- 佐野直子 (2005) 「ヨーロッパの多言語主義と少数言語——「オック語」の事例から」『ことばと社会』第 9 号 75-105 三元社
- 塩原朝子、児玉茂昭編著 (2006) 『表記の習慣のない言語の表記』東京外国語大学アジア・アフリカ言語研究所
- 清水幾太郎 (1959) 『論文の書き方』岩波書店
- 澁谷智子 (2009) 『コーダの世界 手話の文化と声の文化』 医学書院
- スクトナブ=カンガス・トーヴェ (2004) 「言語抹殺とろう者」小嶋勇監修『ろう教育と言語権』153-190 明石書店
- スクトナブ=カンガス・トーヴェ (2008) 「バイリンガル教育とろう児の母語としての手話言語」佐々木倫子監修『バイリンガルでろう児は育つ』生活書院
- 鈴木孝夫 (1999) 『日本人は何故英語ができないか』 岩波書店
- スタッキー・J.E. (1995) 『読み書き能力のイデオロギーをあばく—多様な価値の共存のために』勁草書房
- 全国手話研修センター (2004, 2006) 『新・手話教室 入門』 全日本ろうあ連盟出版局
- 全国手話研修センター (2011) 『よくわかる！手話の筆記試験対策テキスト』中央法規出
- 全国手話通訳問題研究会 (2010) 『結成から法人格取得までのあゆみ』 全国手話通訳問題研究会
- 全日本ろうあ連盟 (2007) 『誇りを持って未来へ～ろうあ者の権利保障と手話の言語的認知を求めて 60 年』 全日本ろうあ連盟出版局

- 全日本ろうあ連盟 (2010) 『わたしたちの手話 学習辞典』全日本ろうあ連盟出版局
- 多和田葉子 (2000) 「文字を聞く」荒・谷川『境界の言語』新曜社
- 高田英一 (2011a) 「障害者権利条約」とろう教育 (8) 『ろう教育の”明日”』 No.62,26-40
ろう教育の明日を考える会
- 高田英一 (2011b) 「手話の歴史」全国手話研修センター『よくわかる！手話の筆記試験対策テキスト』8-32 中央法規出版
- 長南浩人 (2009) 『手話の心理学入門』東峰書房
- 中川裕 (2006) 「アイヌ人によるアイヌ語表記への取り組み」塩原朝子、児玉茂昭編著 (2006) 『表記の習慣のない言語の表記』東京外国語大学アジア・アフリカ言語研究所
- ナニワ太郎翻訳 (2004) 『コテコテ大阪弁訳聖書』 データハウス
- ネトル・ダニエル、ロメイン・スザンヌ (2001) 『消えゆく言語たち 失われることば、失われる世界』新曜社
- 原 聖 (1987) 「少数言語にとっての標準語をめぐって」一橋論叢、97(6).828-848 一橋大学機関リポジトリ
- 松永 澄夫 (2006) 音の経験・言葉の力第 II 部『音の経験一言葉はどのようにして可能となるのかー』東信堂
- 松本晶行 (2001) 『実感的手話文法試論』全日本ろうあ連盟出版局
- 松本晶行 (2007) 「なんやろな、それ第 3 回」全国手話通訳問題研究会『手話通訳問題研究』第 99 号 24-27
- 三尾 砂 (1958) 『話しことばの文法』法政大学出版会
- 水村美苗 (2008) 『日本語が亡びるとき』筑摩書房
- 宮岡伯人・崎山理 (編) (2002) 『消滅の危機に瀕した世界の言語』明石書店
- ミルロイ・ジェームズ、ミルロイ・レズリー (1998) 『ことばの権力ー規範主義と標準語についての研究』南雲堂
- ムーディ・ビル (2003) 『国際手話：ある使用者の考察』全日本ろうあ連盟
- 森田 伸子 (2005) 『文字の経験 読むことと書くこと思想史』勁草書房
- 森岡健二 (1991) 『改訂近代語の成立一語彙編一』 明治書院
- 安田敏朗 (2006、2007) 『「国語」の近代史』 中央公論新社
- 柳父 章 (1982、2004) 『翻訳語成立事情』 岩波書店
- 山本真弓 (編著) 臼井裕之、木村護郎クリストフ (著) (2004) 『言語的近代を超えて<多言語状況>を生きるために』明石書店
- 米内山明宏 (2003) 「手話にも方言がある」『月刊言語』Vol.32 No.8 大修館書店
- 米川明彦 (1984) 『手話言語の記述的研究』 明治書院
- ラッド、パディ著 (2007) 『ろう文化の歴史と展望』 明石書店
- Abdel-Fattah, M.A. (2005) Arabic Sign Language: A Perspective. In *Journal of Deaf Studies and Deaf Education* Vol.10 no.2 212-221

- Alegria, J. & Charlier, B. (1992) The role of lip-reading and cued speech in the development of phonological representation in deaf children. Symposium on Lip-reading: XXV International Congress of Psychology, Brussels,
- Allsop, L., Woll, B., Brauti, J. M. (1995) International Sign in *Sign Language Research 1994: Proceedings of the Fourth European Congress on Sign Language Research, Munich, September 1-3, 1994* (International Studies on Sign Language and Communication of the Deaf; 29) Hamburg : Signum
- Bernstein, B (1971) *Class, Codes and Control* vol 1 London; Paladin
- Bos, Heleen F. and Schermer, Gertrude M. (eds)(1974): *Sign Language Research 1994: Proceedings of the Fourth European Congress on Sign Language Research, Munich, September 1-3, 1994* (International Studies on Sign Language and Communication of the Deaf; 29) Hamburg : Signum
- Cobarrubias, J. & Fishman J.A.(eds) (1983)*Progress in Language Planning*
- Coulmas, F (2002) *Writing Systems: An introduction to their linguistic analysis*, Cambridge University Press
- Deuchar, M. (1984) *Diglossia in British Sign Language*, Indiana University Linguistics Club
- Ferguson, C.A.(1959) Diglossia. In *Word* 15.325-340
- Fishman, J.A.(1967)Bilingualism with and without diglossia: diglossia with and without bilingualism. In *Journal of Social Issues*, 23(2),29-38
- Fishman, J.A. (2006) Language Policy and Language Shift in Ricento(2006) *An introduction to language policy: theory and method*.311-328 Blackwell Publishing Ltd
- Gardy, P. and Lagont R. (1981) La diglossie comme conflit: l'exemple occitan. *Langues* (61) 75-91
- Halliday, M.A.K. (1989) *Spoken and written language*, Oxford University Press
- Haugen, E. (1966) Linguistics and language planning. In *Sociolinguistics*.50-71
- Haugen, E. (1983) The implementation of Corpus Planning: Theory and Practice.In Cobarrubias, J. & Fishman J.A.(eds.) *Progress in Language Planning* .269-289Mouton
- Hawking, J. (1983) A Re-examination of Sign Language Diglossia. In *American Annals of the Deaf* vol.128(1) February 1983 .48-52
- Hopkins, Jason (2008) Choosing how to write sign language: a sociolinguistic perspective in *International Journal of Sociology and Language*. Walter de Gruyter
- Lee, D.M.(1982) Are there really signs of diglossia? Re-examining of the situation. In *Sign Language Studies* 35 .127-152 Linstok Press
- Nakamura, K. (2006)*Deaf in Japan: signing and the politics of identity* Cornell University Press
- Nettle, D. and Romaine, S. (2000) *Vanishing Voices-The extinction of the world's*

- languages*, Oxford University Press
- Reagan, T. (2006) Language Policy and Sign Languages. In Ricento(2006) *An introduction to language policy: theory and method*. 329-345 Blackwell Publishing Ltd
- Ricento, T.(2006) *An introduction to language policy: theory and method*, Blackwell Publishing Ltd
- Rogers, Henry (2005) *Writing Systems-A Linguistic Approach* Blackwell Publishing Ltd
- Romaine, S. (2006) Planning for the survival of linguistic Diversity. In *Language Policy* (2006)5.441-473
- Sandler, Lillo-Maritn(2006)*Sign Language and Linguistic Universals* Cambridge University Press
- Sandler,W.& Lillo-Martin, D. (2001)Natural Sign Languages. In *Handbook of Linguistics*. M. Aronoff& J. Rees-Miller(eds)pp. 533-562
- Smalley, William A. (1963) Writing systems and their characteristics. In *Orthography Studies Articles on New Writing Systems*, William A. Smalley (ed.) 1-17. United Bible Societies
- Stokoe, W. (1960) Sign language structure: an outline of the visual communications of the American deaf. In *Studies in Linguistics: Occasional Papers 8*, Gallaudet College
- Stokoe,W.(1969)Sign Lanugage Diglossia. In *Studies in Linguistics* 21(1969-70) .27-41Gallaudet College
- Turner, G.H. (1995) Contact signing and language shift. In Bos, Heleen F. and Schermer, Gertrude M. (eds): *Sign Language Research 1994: Proceedings of the Fourth European Congress on Sign Language Research, Munich, September 1–3, 1994 (International Studies on Sign Language and Communication of the Deaf; 29)* Hamburg : Signum
- UNESCO Ad Hoc Expert Group on Endangered Languages (2003) *Language Vitality and Endangerment*